

Dr. Glen, Kenny

オタワ大学（カナダ）・教授



日時：2010年11月22日（月）

1) 研究紹介 16:00～17:00

近藤徳彦：熱放散特性研究の新たな展開

天野達郎（前期課程）：運動トレーニングの違いが熱放散反応に及ぼす影響

2) 講演会 17:00～19:00

Dr. Kenny: ヒトの体温調節特性-運動後の反応から-

場所：神戸大学・発達科学部・大会議室

講演内容

ある運動を終了すると運動後に血圧が運動前より低下する。これに伴い自律神経活動が大きくなり、運動後の発汗や皮膚血流がその影響を受ける。Kenny先生はその仕組みを検討している研究者であり、近年、からだにセンサーをつけないで身体からの熱の放散量を解析する方法を確立し、世界で注目されている。運動後の体温調節機構について、精力的な研究の一端を紹介いただく。

略歴

1987年オタワ大学健康科学部を卒業、1994年同大学でPhD（生理学）を取得後、同大学で教員に。専門は運動生理学・環境生理学で、科学雑誌に140以上の論文を発表。

近藤徳彦（人間発達環境学研究科 kondo@kobe-u.ac.jp 内線 7816）

（本講演会は人間発達環境学研究科の学術WEEKS2010の一環として実施）